

ご質問

「和装家の名刺を頂いていますが、  
何のメリット也没有せん。  
この名刺の使い方をおしえてください」

お答え

和装家にご登録いただいた皆さまに無料でお送りしている名刺ですが、その使い方についてご質問をいただきました。NPOとしては、ご友人などに名刺を配っていただいて、きものを世界遺産への活動や、和装家のことを広げていただくことを意図しています。例えば公式サイトからできる署名活動への協力を呼びかけていただくとありがたいです。



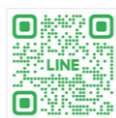
ご意見

「写真がいつも同じ人たちで、その上、  
複数枚掲載されていると思います。  
編集でチェックしてほしいです。  
またいつもの人たちとってしまいます」

お答え

着姿の美しさや表情、その記事のコンセプトに沿った写真かどうかなどで判断しています。より多くの方を掲載したいと考えていますので、ぜひ積極的に写真を送ってくださいね。なお、これは念のためですが、NPOの会員各社様とのお取引の有無は写真選択にまったく関係していませんが、NPOの活動に積極的にご協力いただいている方には、少し最優先しているかもしれません。

写真送付先メール  
wasouka@branding-stories.com



公式LINEでも受け付けています →

岡井コレクション、ご披露中!



当日は、「岡井コレクション」ということで、全国から集めた男きものや帯が揃っていました。その会場での岡井氏の挨拶からの引用になります。

博多織の伝統を守りながら、新しい意匠にも挑戦し、さらに全国の織元と連携しながら魅力的な帯、きものを提供している株式会社はかた匠工芸。その新社長、岡井弘志氏が銀座サムライのイベントに来訪されるということで取材をさせていただきました。

そのうち、さらにたくさん職人たちの手仕事が衰退していく光景を目の当たりにし、日本の手仕事を応援したい、理想のきもの業界に飛び込みました。入社した株式会社パールトーンで、仕立て、洗い、染み抜きなどの技術(免許)を習得しました。

じ紋彫をしないと答えていました。ところが、その後、製造現場にコンピュータ技術が入り、紋彫の仕事は事実上消滅。フロッピーにとって代わられました。その時の父の悲しむ姿が目には焼き付いています。

人も応援したいと思うようになり、社名にははかたがありますが、博多に限らずいろんな産地、職人、手仕事と着る人の橋渡しをする存在になりたいと考えています。あれが欲しい!こんなものはありますか?などいろいろ相談してください。産地織元との橋渡しをいたします。これからもよろしくお願いたします。

株式会社はかた匠工芸  
代表取締役社長、岡井 弘志氏

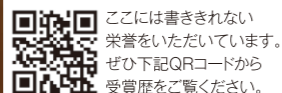


きものを着る人と作る人の橋渡しをする事で  
日本の手仕事の素晴らしさを守りたい。

例えば  
2018年(平成30年)5月、第62回新作博多織展にて  
「弥三右衛門間道」が最高賞である内閣総理大臣賞を受賞



その中で、弊社は博多織を代表する織元の一つとして温故知新、先進の想いを持ち「新しい伝統」を織り続けています。



ここには書ききれない  
栄誉をいただいています。  
ぜひ下記QRコードから  
受賞歴をご覧ください。

きものファンなら、  
ぜひ「黒フォーマル」をお持ちください。

黒で「礼」を尽くし、家紋で「家」を想う。「黒紋付」は礼を尽くす黒に、代々受け継ぐ「家紋」を染め抜くことで、冠婚葬祭すべてに通用するフォーマルウェアとなり、世界でもっとも格調高い衣装のひとつとなります。ここでは男性の黒紋付を紹介しますが、女性の方で黒留袖をご希望の方、弊社がご相談を承ります。



着る人の人生観さえ表現する黒紋付「零-ZERO」。節目を迎えられる貴方に、SAMURAIより、日本の最高礼装をお届けします。  
※「男きもの専門店SAMURAI」は弊社のブランドです。



例えば、西陣織や加賀友禅に比べて派手さはありません。でも博多織には、その機能性、耐久性、精緻さ、使いやすさなどから、和装文化をこれまでも、これからもしっかりと支え続けていく織物だと考えます。

博多織のいち織元から  
はかた匠工芸  
というブランドへ



株式会社  
はかた匠工芸

〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2-12-40  
tel.092-581-7232

<https://takumikougei.jp>

はかた匠工芸は  
NPO法人  
きものを世界遺産にするための全国会議  
の活動を応援しています。



〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2-12-40 tel.092-581-7232  
<https://takumikougei.jp>